



六中だより

～学校教育目標～
“学力と情操”
“健康と忍耐力”
“勤労と責任”

「叱るのは難しい」

校長 佐藤 光宏

子育てのなかで親が悩むことの一つに、悪いことをした我が子の叱り方があると思います。

「叱るよりも褒める、長所を伸ばしてあげる」ことは、子育てに限らず、人間関係を築くための原則ですが、子どもが人として間違ったことをしたら、それを叱ることは、親の大切な役目です。叱れない親が、子供の健やかな成長を妨げてしまったケースに何度か出合いました。

子どもの健全な成長には、親が本気で叱る、説教する、話して聞かせることは避けて通れない道だと思っています。

《叱るときに注意したいこと》

1. 殴ったり蹴ったりの暴力を使わないこと。暴力を受けて育った子どもは、なんでも暴力で解決しようとして、さらに大きな問題を起こしてしまう傾向があります。また、暴力で親に逆襲する悲劇も起きています。
2. 前の事例を出さないこと。「またやった。あれだけ言ったのに」。また、兄弟や姉妹、友だちとの比較で叱らないこと。「お兄ちゃんはこのことなかったのに、あなたは どうしてこうなの？」子どもとの信頼関係は一度切れると回復には長い時間がかかります。
3. 叱るときは「具体的に、短く」。何が悪かったのか、ことの経過や子どもの心情に問いかけて叱ります。
4. 「お母さんは・・・」のように、主語をつけて話すこと。子どもにも主語をつけて話します。「○くんは・・・」。
5. 父母・祖父母・兄妹で役割（叱る役、なだめる役など）を決めて、叱られて苦しくなった子どもの心を受け止めたり、逃げる場を用意すること。
6. 叱った後の内面の動きを察して、アフターケアをすること。

子どもたちは、失敗し叱られて、反省をしながら、大人として自立していきます。家庭と学校、地域で協力して頑張っていきましょう。



入学式

4月8日（火）、令和6年度第59回入学式が行われました。

新入生193名の入学を祝し、保護者、3年生、30余名の来賓の方の参列で行うことができました。これから3年間の大きな成長を期待しています。



全校ガイダンス

4月15日に全校ガイダンスを行いました。各委員会や部活動から活動内容の紹介があり、時には笑いが起こる場面もありました。日々の勉強のほかに、行事や委員会、部活動に積極的に取り組み、充実した中学校生活を送ってください。

委員会活動

4月18日から委員会活動が始まりました。各委員会で学校生活をよりよくするため、新たに六中の一員となった新入生も2・3年生と共に今後の計画やスローガンなどの活動内容について話し合っていました。学校で一丸となって頑張ってください。

部活動仮入部

4月25日まで部活動の仮入部が行われました。期待に胸を膨らませる新入生はもちろんのこと、一生懸命に教える2・3年生の姿が見られ、盛り上がりを見せた1週間となりました。ぜひ3年間、仲間とともに目標に向かって頑張ってください。

学校公開

4月27日（土）に、第1回の学校公開を実施しました。当日は多くの保護者の皆様、地域の方々にご参観いただきました。ご参観いただいた皆様ありがとうございました。生徒も今年度初めての土曜授業でしたが、どのクラスも集中して授業を受けていました。次回は6月1日（土）の体育大会が公開日です。保護者の皆様、地域の皆様のご参観をお待ちしております。